



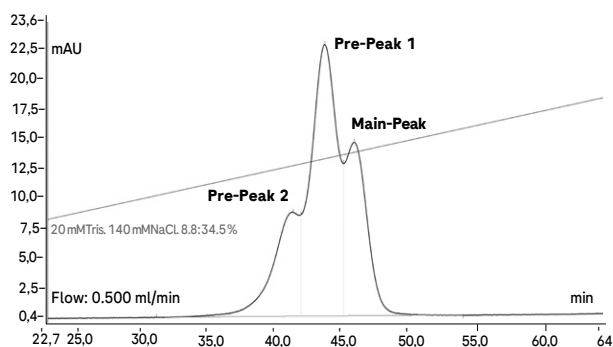
FcRn Affinity Column Gen2

抗体半減期の分析を強化する

FcRnの機能と効果

新生児Fc受容体 (FcRn) は、IgG抗体の生体内代謝に重要な役割を果たします。invitroにおけるFcRnとIgGの相互作用を解析することで、治療用IgGの構造的および機能的完全性に関する知見が得られ、invivoにおける薬物動態 (PK) に影響を与える可能性があります。

FcRnへの結合親和性に基づいて抗体種と変異体を分離するアフィニティークロマトグラフィーカラムが、RocheCustomBiotechから入手可能になりました。



部分酸化モノクローナル抗体の評価
(Stracke J, et al., 2014)²

このカラムは pH 勾配を使用しているため、pH 6.0 または pH 7.4 だけでなく、さまざまな pH 値にわたる結合を簡単に確認できます。

FcRn Affinity Column Gen2は抗体の半減期分析を加速・標準化し、より迅速に有意義なリード候補を開発することができます。

Easy-to-use FcRn Affinity Column Gen2 は HPLC で動作し、次のことを可能にします。

- 特徴づけと区別
 - 異なるFabフラグメントを持つIgGバリエーション
 - 酸化IgGとネイティブIgG
 - 凝集IgGと単量体IgG
 - 野生型および改変IgG
 - 抗体アイソタイプ
 - 凝集体および未結合血清アルブミン
- 複数の pH 値で抗体の挙動を監視し、抗体とその半減期のわずかな違いも視覚化します。
- 抗体処理を自動化します。
- コーティング密度の不一致の可能性を排除し、真に標準化された分析を実現します。

FcRnに結合するタンパク質

- ヒューマンIgG1, IgG2, IgG3, IgG4
- ヒューマンアルブミン (治療用タンパク質の融合タンパク質としてよく使用される)
- ノンヒューマンのIgG抗体の中には人のFcRnに結合する種類がある

仕様

プレパッククロマトグラフィーカラム ※ 1 mL FcRn 樹脂

結合能力	≥100 µg IgG
最大圧力	20 bar
最大体積流量	0.5 mL/min
安定性	100回以上の注入に耐え、+2~+8°Cで保存可能

製品情報

製品名	サイズ	カタログNo. (統一製品コード)
FcRn Affinity Column Gen2	1プレパックカラム	09 430 857 001 (518251369)
FcRn IgG Control	1 mL	09 494 804 001 (518251376)

規制上の免責事項
品質管理または製造プロセスにのみ使用してください。



CustomBiotech
ホームページリンク
文献リストはこちらから
ご覧ください

©2025
All rights reserved.

発行社
ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社
〒108-0075 東京都港区港南1-2-70

ジャパンカスタムバイオテック担当者
にお問い合わせください。

Japan
japan.custombiotech@roche.com
Tel: 0120-600-152

文献

- Schlothauer T et al. (2013), Analytical FcRn affinity chromatography for functional characterization of monoclonal antibodies, MAb 5:576
- tracke J. et al. (2014), A novel approach to investigate the effect of methionine oxidation on pharmacokinetic properties of therapeutic antibodies, MAB 6:1229

<https://custombiotech-roche.jp/>

LinkedIn

